



# 全大教

全国大学高専教職員組合 発行所  
Faculty and Staff Union of Japanese Universities

毎月1回10日発行 (1部30円) 組合員の購読料は組合費に含まれています

第311号 2015年5月10日

全大教のホームページ <http://www.zendaikyo.or.jp>

◆全大教の紹介  
◆大学・高等教育に関する情報など

◇情報の提供やお問い合わせは全大教情報宣伝部まで  
Eメール <[josen@zendaikyo.or.jp](mailto:josen@zendaikyo.or.jp)>

〒110-0015 東京都台東区東上野六丁目1番7号 MSKビル7階  
TEL 03(3844)1671/FAX 03(3844)1672



看護師オリエンテーションでの組合説明会では、74人中53人からその場で加入申込書を提出して頂きました。当日は全学の執行委

「あなたの加入が確かな力になる!!」  
秋田大学 53人が加入

**続報** 教員・技術職員、  
(静岡大)  
事務・図書系職員ガイダンスや  
(名古屋大)  
看護師等医療職員オリエンテーションで  
(秋田大、山口大)

## 組合紹介

新人教職員をむかえ、各単組で  
組合加入の取り組みが進んでいます

員長以下7人に対し、特に訴えたのは、厚労省の5局長・6局長通知や看護協会のガイドライン等、組合は勿論、政府も職能団体も看護職が安全で健康に働ける職場環境を整備が急務であることを表明している。こうした状況はこれまでになかったこと。まさに職場環境改善の絶好のチャンスを迎えていること。あなたの加入がその確かな力になることとなります。

また、恒例となっている手作りシフォンケーキを全員にプレゼントしました。



「働き甲斐のある職場を共に作ろう」  
静岡大学 4人が加入



山口大学 21人が加入  
「人員増、みんなで目指して実現だ!」  
全大教新聞号外を用いてのクイズを織り込みながら、パワーポイントを用いて、組合の紹介をしました。

「働き甲斐のある職場を共に作ろう」  
浜松キャンパスでの「雇入れ安全衛生教育」と静岡キャンパスでの「新任教員研修会」の昼休み時に、組合ガイダンスを実施しました。浜松では副委員長、過半数代表他6人、静岡では委員長、書記長他4人が参加し、法人化で公務員では無くなり、新しい就業規則改訂は本人の同意なく配置転換、出向、転籍が可能になるなど職場環境が大きく変化する中で団体交渉権を有する組合の役割が高まっていることを説明し、働き甲斐のある職場めざして組合への参加を訴え、4人が加入しました。

「働き甲斐のある職場を共に作ろう」  
4月17日、和歌山大学教職員組合が組織した原告団53人(当初の提訴から1人追加)による未払賃金請求訴訟の第一回口頭弁論が行われました。裁判傍聴と報告集会に地域の労働組合の方を含め約40人の参加がありました。

「同じ職場の組合員の声掛けが重要」  
厚生に事務、図書と技術職員の新規採用についておいたこともあり、研修参加者の8割に組合説明会を開催しました。従来、研修参加者の組合の宣伝物は、配布していましたが、軽食をとりながら説明するのは、初めての試みです。



## 給与臨時減額による未払い賃金請求訴訟 (4月17日) 和歌山大学教職員組合 第1回口頭弁論・報告集会

4月17日、和歌山大学教職員組合が組織した原告団53人(当初の提訴から1人追加)による未払賃金請求訴訟の第一回口頭弁論が行われました。裁判傍聴と報告集会に地域の労働組合の方を含め約40人の参加がありました。

口頭弁論では山名学原告団長(執行委員長)が意見陳述を行い、①生活や研究を直撃した賃金未払いの回復 ②またも労働関係の構築 ③大学の自治の確立という三点からこの訴訟の意義を改めて宣言しました。

報告集会では、畑純一弁護団長から被告側の訴訟戦略の解説など今回の口頭弁論の報告の他、中嶋哲彦全大教委員長、京大職組の高山佳奈子原告団長の激励の挨拶、全国の裁判情勢の報告がありました。マスコミの取材も数社からありました。これらまでの各地の経験に学び、原告勝利の判決を勝ちとることを決意する集会となりました。

第二回口頭弁論は6月16日13時からです。引き続き支援を宜しくお願い致します。(和歌山大学教職員組合書記長 中嶋正博)

「同じ職場の組合員の声掛けが重要」  
厚生に事務、図書と技術職員の新規採用についておいたこともあり、研修参加者の8割に組合説明会を開催しました。従来、研修参加者の組合の宣伝物は、配布していましたが、軽食をとりながら説明するのは、初めての試みです。

## 政府による入学式、卒業式の国旗掲揚・国歌斉唱「要請」問題で声明を発表

4月9日の国会質疑で、文部科学省が調べた国立大学入学式、卒業式での国旗掲揚、国歌斉唱の実施状況の資料を元にした野党議員の質問に対して安倍首相が「税金でまかなわれている以上、国立大学では国旗掲揚・国歌斉唱が実施されるべき」と答弁し、これを受けて下村文科大臣が「各国立大学への要請を行い、たい」との考えを述べています。

こうした事態に対し、全大教中央執行委員会では、4月22日付けで声明「政府の国旗・国歌『要請』方針に抗議する」とともに学長・国立大学協会に自律的判断にもとづく行動をすることを求める」を発表しました。概要は次のとおりです。

◆安倍首相の見解では国立大学は常に政府方針に従わなければならないことになり、大学の自主性を否定するもの。

◆教育基本法の「わが国と郷土を愛する」態度を養うこととの規定は、政府が国民の内心の自由を侵し、特定の行

◆全大教は、大学自治の担い手の集団として、政府の不当な要請に屈することのない責任ある国立大学の一翼を担っていく覚悟であることを表明する。

### 今月の紙面

- ◆単組からのレポート  
横濱市立大学「調理は通けし 極める情熱鉄火もちらめく」  
鳥羽商船高専「状況を認識し、団結意識を再燃したい」  
わたしもしむこと
- 2面 ◆残業代ゼロ法案問題について聞きました!  
◆海軍職員交流会開催しました  
◆文科省・大学病室支援と意見(病院)
- 4面 ◆論壇「大学のグローバル化とは何か」  
名古屋大学准教授 日比 嘉高 氏
- 3面 ◆Activity-青年部から

## 全大教中央執行委員会声明 (4月22日)

4月9日の国会質疑で、文部科学省が調べた国立大学入学式、卒業式での国旗掲揚、国歌斉唱の実施状況の資料を元にした野党議員の質問に対して安倍首相が「税金でまかなわれている以上、国立大学では国旗掲揚・国歌斉唱が実施されるべき」と答弁し、これを受けて下村文科大臣が「各国立大学への要請を行い、たい」との考えを述べています。

こうした事態に対し、全大教中央執行委員会では、4月22日付けで声明「政府の国旗・国歌『要請』方針に抗議する」とともに学長・国立大学協会に自律的判断にもとづく行動をすることを求める」を発表しました。概要は次のとおりです。

◆安倍首相の見解では国立大学は常に政府方針に従わなければならないことになり、大学の自主性を否定するもの。

◆教育基本法の「わが国と郷土を愛する」態度を養うこととの規定は、政府が国民の内心の自由を侵し、特定の行

◆全大教は、大学自治の担い手の集団として、政府の不当な要請に屈することのない責任ある国立大学の一翼を担っていく覚悟であることを表明する。